

高齢者の地域参加促進施策について

1 主旨

区では、高齢者人口の増加が見込まれる中で、高齢者の孤立・孤独の防止、健康寿命の延伸などの課題に対応するため、高齢者が地域の中でいきいきと暮らせるよう、就労・就業支援や地域活動への参加促進施策を充実させる旨、本年2月3日の区民生活常任委員会に報告したところであるが、この間の検討状況について報告する。

2 高齢者の地域参加促進施策の検討状況

本年2月3日の区民生活常任委員会に報告した以下の《取組みの柱》に基づき、【別紙1】のとおり具体的な取組みの検討を進めてきた。

(1) ニーズに応じた就労・就業環境の整備

＜具体的な取組み＞

- ① 事業者に対し、高齢者の希望する業務の切り出し支援
- ② 多様な就労マッチングが可能となるAIの活用研究と試行

(2) 社会貢献、地域貢献意欲への対応

＜具体的な取組み＞

- ① 有償ボランティアによる社会参加の促進
- ② 世田谷ボランティア協会との連携の強化

(3) 高齢者の活動組織の活性化

高齢者の自主活動を支援し、高齢者が地域に参加する「入口」を拡充する。

(4) 健康づくりへの支援を通じた健康長寿の実現

民間のスポーツジムや入浴施設と連携した、高齢者の出かけていく場とメニューの創出

(5) 地域包括ケアの地区展開における高齢者同士の支えあいの促進

高齢者クラブや自主活動団体を支援する仕組みを、地域包括ケアの三者連携による取組みや世田谷ボランティア協会等との連携により充実させる。

3 今後のスケジュール（予定）

令和2年10月～	高齢者の地域参加促進施策の試行	順次実施予定
令和3年度	具体的取組みの本格実施	（予定）

4 その他

高齢者の地域参加促進施策の推進にあたっては、「第8期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（令和3～5年度）における施策体系、「高齢者の活動と参加の促進」として進める。

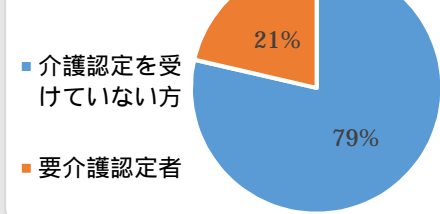
高齢者の状況と地域参加促進施策

1 世田谷区の高齢者の状況

- 令和2年4月1日現在、65歳以上の方が約18万5千人であるが、このうち約8割の方は要介護認定を受けずに生活を送っている。
- 区民の平均寿命*1は、男性が82.72歳、女性が87.91歳と全国的にも上位にあるものの、要介護状態になるまでの健康寿命*2については、男性81.63歳、女性82.59歳と、23区の中位にあり健康寿命延伸が課題となっている。
- 核家族化の進展などにより、「65歳以上の単身世帯」や「高齢者のみ世帯」が全体の約7割を占め、今後も増加が見込まれることから、孤立（孤独）やひきこもりの防止、フレイル予防など、高齢者の心身の健康や認知症予防策を講じる必要がある。

*1：平成30年 簡易生命表
*2：平成30年 65歳健康寿命（東京保健所長会方式）結果

要介護者の割合



世帯数（平成31年4月1日時点）

区分	数	割合
一般	54,582	29.8%
ひとり（単身）	59,735	32.6%
高齢者のみ	68,859	37.6%
全体	183,176	100.0%

2 高齢者の地域参加促進施策と課題

- 区の高齢者の地域参加促進施策は、生涯大学や陶芸教室等による「学びの場」の提供のほか、高齢者クラブ支援や生涯現役ネットワーク活動団体の支援など、団体支援と区民への活動情報の提供を行っている。
- 「ふじみ荘」「ひだまり友遊会館」「がやがや館」「敬老会館」など、高齢者の活動の場の提供を行っている。
- 高齢者クラブや高齢者の活動団体の中には、会員の高齢化に伴い、担い手不足や会員の減少など、活動の停滞が課題となっているところもある。
- 高齢者間の年齢幅や活動の場が拡がり、世代のニーズも多様化していることに伴い、それに応じた施策を展開する必要がある。
- 昨年度実施した「世田谷区高齢者ニーズ調査」によれば、働くことを望む方が約9千5百人いると推計されるが、希望する職種は「専門技術」や「事務」が多く、人材不足産業（清掃や警備など）との間でミスマッチが生じている。
- 多様な経験や多彩な能力をもつ区民が多く在住しており、区が学びの場を提供するに留まらず、区民の経験や能力を活かす視点が必要である。

今後の地域参加促進施策の方向性（展開イメージ）

- 高齢者の孤立や孤独の解消、健康寿命の延伸などの社会的課題を踏まえ、高齢者が様々な場所や身近な地域において仲間やグループでの多彩な活動を積極的に展開できる環境整備（人材、活動の場など）を進める。
- 高齢者クラブや生涯現役ネットワーク、地域包括ケアの地区展開など、既存の活動体や事業、区民センター等の個人利用エリア等を活かした、地域・地区を単位とした取組みをめざす。
- 「第8期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（令和3年度～）における施策体系、「高齢者の活動と参加の促進」として本施策を進める。

地域参加促進の具体的取組み

1 就労・就業機会の提供拡大

A Iを活用した人材マッチング機能の充実

- 多様な就業マッチングが可能となるA Iの活用研究および試行により、高齢者特有のニーズに応えるとともに、個々の能力等に応じた業務の提供等を行うことにより、マッチングコーディネートの加速を図る。
<令和2年秋以降試行、令和3年度本格実施（予定）>

2 地域活動・地域貢献機会の拡充

ボランティア活動を希望する方の人材登録とマッチング機能である「おたがいさまBank」にA Iを活用し、新たに2つの機能を加え、世田谷ボランティア協会が担い手となり、有償ボランティアによる高齢者の社会参加と交流機会の充実を支援する。世田谷ボランティアセンターとボランティアビューロー間で情報共有を進め、全区的な視点で有償ボランティア活動ニーズへの対応を図る。

高齢者の知識や経験と活動団体を結び付ける機能の充実

- 「おたがいさまBank」のマッチングコーディネート機能にA Iを活用し、語学や楽器、ITなどの活かせる知識や経験と講師や指導者を求める団体などを結びつけ、地域活動への参加機会の拡充と団体活動の活性化を支援する。
<令和2年秋以降試行、令和3年度本格実施（予定）>

「誰かと、何かの活動をしたい人」のコーディネート機能の実施

- 花壇や緑道の清掃、学校の樹木の剪定など、地域で社会貢献活動を行う団体と活動に参加したい方を結び付け、団体活動の活性化と高齢者の参加・交流機会の拡充を図る。
- また、新たな活動団体の立ち上げを支援し、コミュニティづくりにつなげる。
<令和2年秋以降試行、令和3年度本格実施（予定）>

3 高齢者の地域活動団体の多様化支援

高齢者クラブの活動支援

- 高齢者クラブの活動を引き続きサポートするほか、新たに会員以外も対象とする地域貢献活動（例：ラジオ体操など）に取り組むクラブに対して、物品等の購入経費の助成を行う。
- 高齢者クラブの運営負担の軽減と活性化のため、助成金申請等の書類の簡略化やIT活用の支援等を行うボランティア派遣を行う。

「生涯現役ネットワーク」参加団体の支援

- 「生涯現役ネットワーク」参加団体を対象に、地域や社会に貢献する活動を新たに支援する仕組みづくりを行う。
- 経験や特技、能力などを活かし、施設での植栽の剪定や趣味の活動指導、高齢者へのIT支援など、高齢者の心身の健康維持、仲間づくりに貢献する活動を推奨し支援する。
<令和2年10月以降試行、令和3年度本格運用予定>

4 健康づくりと憩いの場の拡充

- 区内には数多くのスポーツクラブがあり、大規模施設の中には入浴設備を備えた施設もある。
- 高齢者の健康寿命の延伸と憩いの場の創出を目的に、他自治体の取組みも参考に、区立施設や民間スポーツクラブの活用検討を進める。
<令和3年度からの活用に向け、検討を進める>

「ふじみ荘」の利用者対応及び既存施設の利用促進

- 「千歳温水プール（健康運動室）」や「大蔵第2運動場（トレーニングルーム）」などの見学会を開催する。
- 高齢者が囲碁・将棋や憩いの場として利用できる公共施設を案内するリーフレットを作成し、「ふじみ荘」での配布と相談に応じる。
- 「千歳温水プール」、「大蔵第2運動場」への利便性を確保するため、「ふじみ荘」への送迎バスの運用等について調整を進める。